第３次文京区役所地球温暖化対策実行計画

2023(令和５)年度実績報告書

二酸化炭素排出量の削減状況（１）

2023(令和５年度における区のエネルギー使用による二酸化炭素排出量は10,058tCO2となり、前年度と比較して1,605tCO2減少し、平成25年度基準年の排出量と比較して45.3%の減少となりました。
二酸化炭素排出量が前年度に比べ減少している主な理由としては、より二酸化炭素排出係数の低い電力会社へと切替えを行ったことなどが挙げられます。
二酸化炭素を排出しているエネルギー燃料の使用形態別内訳については、シビックセンターの改修工事の完了に伴い、都市ガスや水道の使用量が前年度より10%程度増加しました。
引き続き、省エネルギー行動を進め、全庁的に適正なエネルギー管理の取組を進めていくことが必要です。

二酸化炭素排出量の推移

年度 二酸化炭素排出量削減状況		基準年度 2013 （平成25）	2020 （令和２）	2021 （令和３）	2022 （令和４）	2023 （令和５）	目標年度 2024 （令和６）
原単位（100㎡あたり排出量）	t-CO_2	4.69	2.83	3.35	3.03	2.46	3.99
二酸化炭素排出量	t-CO_2	18,402	11,330	12,309	11,663	10,058	15,666
対象となる区有施設の総延床面積	㎡	392,638	398,667	367,676	385,129	408,629	392,638
指数〔基準年度を100とした場合〕		100	60	71	65	52	85

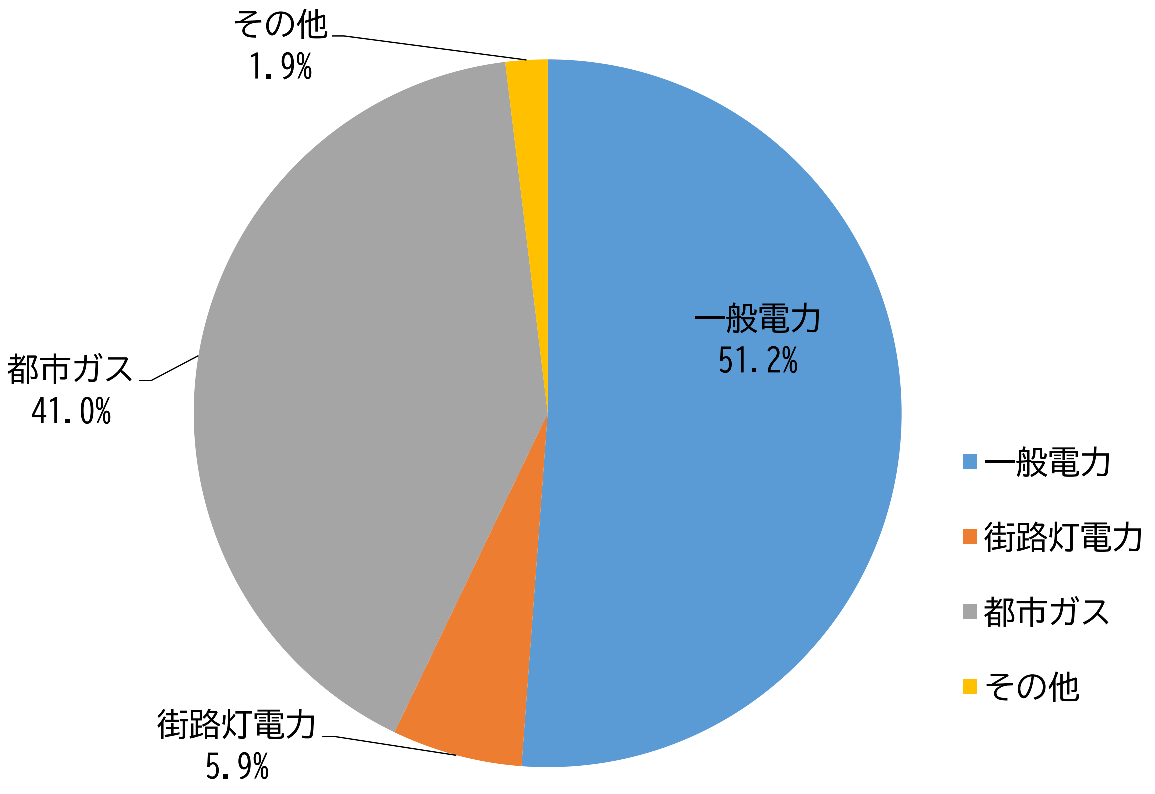
※１：第３次文京区役所地球温暖化対策実行計画では、2024(令和６)年度までに原単位あたりの排出量15%削減を目標としています。
※２：総延床面積の数値の増加は、建物の改修、建替えやエネルギー管理対象施設の新規追加によるものです。
※３：目標年度の二酸化炭素排出量は、あくまで基準年度と延床面積が変わらないものとした場合の数値です。

二酸化炭素排出量の削減状況（２）

2022（令和４）年度における二酸化炭素排出量の使用形態別内訳

	合計値	一般電力	街路灯電力	都市ガス	Ａ重油	その他
二酸化炭素排出量　t-CO_2	10,058	5,147	598	4,119	0	193
内訳　%	100	51.2	5.9	41.0	0.0	1.9

※１：端数処理のため、合計値が異なる場合があります。



エネルギー使用量等の削減状況（１）

１．電気使用量の削減状況

電気使用量については、2022(令和４)年度と比較して2.9%増加となりました。
引き続き健康安全面などを考慮に入れながら節電対策に取り組んでいきます。

電気使用量の推移

		基準年度 2013 （平成25）	2020 （令和２）	2021 （令和３）	2022 （令和４）	2023 （令和５）	目標年度 2024 （令和６）
使用量（区有施設全体）	kWh	30,557,219	27,658,992	28,527,533	30,054,233	30,922,085	25,973,636
	指数	100	91	93	98	101	85
二酸化炭素排出量	t-CO_2	14,110	7,444	8,219	7,431	5,745	11,994
	指数	100	53	58	53	41	85

２．都市ガス使用量の削減状況

都市ガス使用量については、2022(令和４)年度と比較して11.9%増加となりました。

都市ガス使用量の推移

		基準年度 2013 （平成25）	2020 （令和２）	2021 （令和３）	2022 （令和４）	2023 （令和５）	目標年度 2024 （令和６）
使用量（区有施設全体）	m^3	1,832,105	1,627,243	1,734,168	1,795,647	2,009,332	1,557,289
	指数	100	91	93	98	110	85
二酸化炭素排出量	t-CO_2	4,104	3,661	3,902	4,040	4,119	3,488
	指数	100	89	95	98	100	85

エネルギー使用量等の削減状況（２）

３．水道使用量の削減状況

水道使用量については、2022(令和４)年度と比較して10.6%増加となりました。
引き続き、手洗いやうがい等感染症対策を実施しながら節水を徹底していきます。

水道使用量の推移

		基準年度 2013 （平成25）	2020 （令和２）	2021 （令和３）	2022 （令和４）	2023 （令和５）	目標年度 2024 （令和６）
使用量（区有施設全体）	kWh	505,953	350,559	406,082	437,964	484,332	455,358
	指数	100	69	80	87	96	90

４．廃棄物排出量の削減状況

2022(令和４)年度と比較して、文京シビックセンターでは、可燃物は10.7%増加、不燃物は10.6%増加となりました。
また、文京シビックセンター以外の施設（有料ごみ処理券等を使用し、廃棄物排出量を管理）では、1.3%増加となりました。

廃棄物排出量の推移

			基準年度 2019 （令和元）	2020 （令和２）	2021 （令和３）	2022 （令和４）	2023 （令和５）	目標年度 2024 （令和６）
文京シビックセンター	可燃物	kg	44,150	31,100	29,180	30,776	34,077	39,892
		指数	100	70	66	70	77	90
	不燃物	kg	36,630	31,700	26,550	25,790	28,540	33,097
		指数	100	87	72	70	78	90
文京シビックセンター以外の区有施設		kl	3,247	3,198	3,770	3,352	3,394	2,934
		指数	100	98	116	103	105	90

エネルギー使用量等の削減状況（３）

５．紙類購入量の削減状況

紙類購入量については、2022(令和４)年度と比較して5.1%減少となりました。
引き続き、コピー用紙等の裏面活用などにより削減に努めます。

水道使用量の推移

		基準年度 2013 (平成25)	2020 （令和２）	2021 （令和３）	2022 （令和４）	2023 （令和５）	目標年度 2024 （令和６）
購入量（区有施設全体）	千枚	30,371	36,956	39,334	37,242	35,334	24,297
	指数	100	122	130	123	116	80

６．カーボン・オフセットの取組状況

文京区では、第３次文京区役所地球温暖化対策実行計画に掲げる二酸化炭素の削減目標達成を目指すとともに、他自治体における森林整備に係る取組を支援するため、包括連携に関する覚書を締結している熊本県が販売するオフセット・クレジット（J-VER）※を400t-CO_2購入しました。

これにより、2023(令和５)年度における区のエネルギー使用による二酸化炭素排出量10,058t-CO_2から購入分の400t-CO2をオフセットしました。

オフセット・クレジットによる二酸化炭素排出量排出量のオフセット

		オフセット前	オフセット後
二酸化炭素排出量	t-CO_2	10,058	9,658
原単位（100㎡あたり排出量）	t-CO_2	2.46	2.36

※１：カーボン・オフセットの取組を普及・促進するため、国内のプロジェクトにおいて実現された温室効果ガス排出削減・吸収量を自主的なカーボン・オフセットに用いられるクレジット（J-VER）として認証・発行する制度。